2026年8月末

Sweet & Sweet STB LGⅢ

スィート＆スィート STB LGⅢ

変額個人年金保険（08）

特別勘定運用レポート

（組入投資信託の運用状況）

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
世界投資25	バランス F(25)VA1	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	1
	マザーファンドの状況		2
日本投資25	国内バランス 25VA1		4
	マザーファンドの状況		4

三井住友海上プライマリー生命

MS&AD INSURANCE GROUP

MSPL-2405-B-0158-00

特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって

当資料をご覧いただく際にご留意いただきたい事項

・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命のスィート&スィートSTB LG Ⅲ〔変額個人年金保険（08）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、［組入投資信託の運用状況］に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。

・［組入投資信託の運用状況］は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認いただきたい事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、契約初期費用、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。

・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

ご契約時にご負担いただく費用

項　目	目　的	費　用	時　期
契約初期費用	当保険契約の締結などに必要な費用	一時払保険料の 3%	特別勘定への繰入前に、一時払保険料から控除します。

ご注意　増額した場合にも、契約初期費用として増額保険料の 3%が控除されます。

特別勘定での運用期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項　目	目　的	費　用		時　期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.74%		積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	世界投資 25	年率 0.165%程度*1（消費税込）	特別勘定の資産残高に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
		日本投資 25	年率 0.165%程度*2（消費税込）	

＊1　投資信託が投資するマザーファンドにおいて有価証券の貸付の指図を行った場合は、マザーファンドの品貸料のうち投資信託の信託財産に属するとみなした額に 50%未満の率を乗じて得た額を信託報酬として、各特別勘定の資産残高から控除します。
・品貸料は投資信託の収益として計上され、その一部を信託報酬として受取るものです。

＊2　投資信託とそのマザーファンドにおいて有価証券の貸付の指図を行った場合は、投資信託の品貸料およびマザーファンドの品貸料のうち投資信託の信託財産に属するとみなした額に 50%未満の率を乗じて得た額を信託報酬として、各特別勘定の資産残高から控除します。
・品貸料は投資信託の収益として計上され、その一部を信託報酬として受取るものです。

ご注意
・資産運用関係費は信託報酬を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
・資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項　目	費　用		時　期
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、払込保険料総額に対して3.4～0.4%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき	経過年数に応じて、一部解約請求金額に対して3.4～0.4%	

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。
※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

＜解約控除率＞

契約日(増額日)からの経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満	8年以上9年未満	9年以上10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	**3.4%**	**3.2%**	**3.0%**	**2.7%**	**2.4%**	**2.1%**	**1.7%**	**1.3%**	**0.9%**	**0.4%**	**0%**

一般勘定で運用する年金の支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含みます。）

項　目	費　用	時　期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

特別勘定の名称：世界投資25

バランスF(25)VA1

Sweet & Sweet STB LG Ⅲ

バランスF(25)VA1（適格機関投資家専用）

2026年8月31日現在

三井住友トラスト・アセットマネジメント

① 当月末基準価額

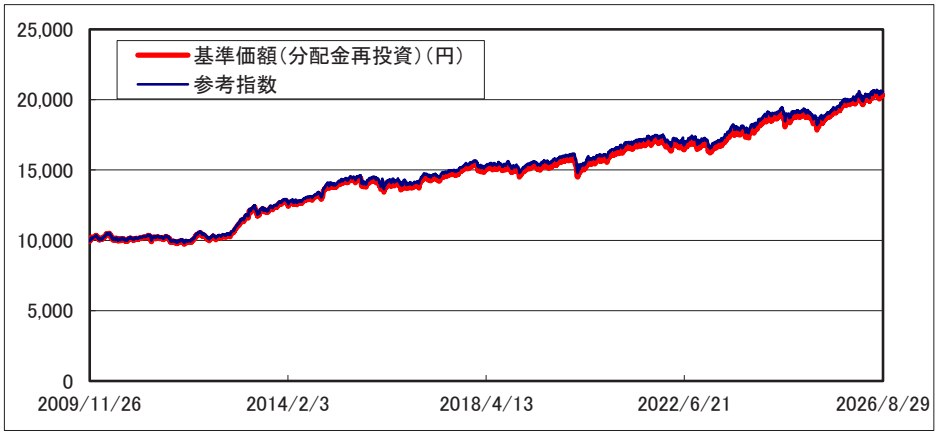
基準価額	既払分配金（税引前）	純資産総額
20,285　円	40　円	2,892　百万円

【マザーファンドの純資産総額】

国内株式	国内債券	欧米株式※1	外国債券
1,016,591　百万円	763,940　百万円	308　百万円	544,700　百万円

※1　欧米株式につきましては、欧米株式インデックス・ファンドVA＜適格機関投資家限定＞の純資産総額を記載しております。

②当ファンドの運用状況



【騰落率】

（単位：%）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	0.47	0.34	−0.05	6.43	14.86	103.49
参考指数	0.60	0.33	−0.12	6.23	13.95	105.74
差	−0.13	0.01	0.07	0.20	0.91	−2.25

【資産構成比と基準価額騰落貢献度（月次）】

（単位：%）

資産	月末時価構成比	基本資産配分	差	基準価額騰落貢献度
国内株式	18.3	17.5	0.8	0.67
国内債券（短期金融資産込）	56.5	57.5	−1.0	−0.46
欧米株式	7.7	7.5	0.2	0.23
外国債券	17.4	17.5	−0.1	−0.01
その他	−	−	−	0.03
合計	100.0	100.0	−	0.47

（注1）　グラフデータは設定日から基準日までを表示しています。また、基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

（注2）　参考指数は各組入資産のベンチマークを指数化したものに、その資産の基本資産配分を乗じたものの合計を、当初設定日を10,000として指数化した合成インデックスです。

（注3）　騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

（注4）　「基準価額騰落貢献度」の「その他」は、信託報酬、基準比差異効果及び資金流出入要因他です。

（注5）　運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：世界投資25

バランスF(25)VA1のマザーファンド

Sweet & Sweet STB LG Ⅲ

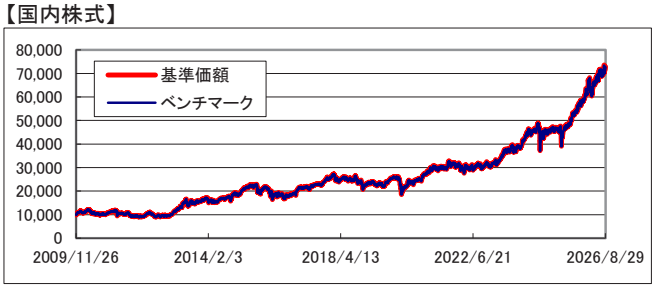
バランスF(25)VA1（適格機関投資家専用）

2026年8月31日現在

三井住友トラスト・アセットマネジメント

③ 資産（マザーファンド）毎の運用状況

【国内株式】



＜騰落率＞

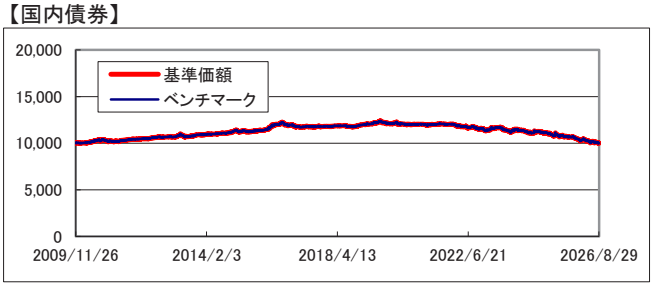
（単位:%）

	1ケ月	3ケ月	6ケ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	3.86	5.17	6.76	38.28	91.26	353.31
ベンチマーク	3.85	5.17	6.77	38.28	91.24	346.61
差	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	6.70

＜市場の動き＞

国内株式市場は上昇しました。月前半は、海外ハイテク株の良好な決算内容を受けて、AI（人工知能）・半導体関連銘柄を中心に買いが優勢となりました。特に、米国の雇用統計やCPI（消費者物価指数）の低調な結果を受けて米早期利上げ観測が後退したことが上昇要因となりました。月後半は、中東情勢の先行き不透明感が改めて意識され、原油価格が上昇に転じたことや財政不安などにより、世界的に長期金利が上昇傾向となったことからハイテク関連株が軟調となる一方で、金融株が堅調となり、底堅く推移しました。

【国内債券】



＜騰落率＞

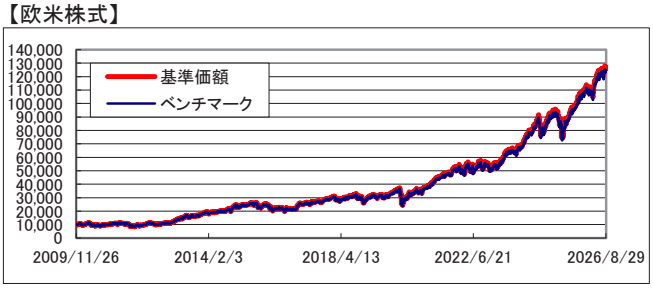
（単位:%）

	1ケ月	3ケ月	6ケ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	−0.80	−1.40	−4.32	−6.36	−12.44	17.30
ベンチマーク	−0.81	−1.39	−4.32	−6.36	−12.44	17.73
差	0.00	0.00	0.01	0.00	−0.01	−0.43

＜市場の動き＞

国内債券市場では10年国債利回りが2.940%に上昇（価格は下落）しました。7月末から8月月初に日米協調円買い介入が行われ、その後ベッセント米財務長官が介入を支持し「政策と経済の基礎条件による対応が必要」と発言した旨が報道され、9月の利上げを織り込む動きが広がりました。また、2027年度予算の概算要求規模が膨らみそうだとの見方が財政運営の先行きに対する不安感につながりました。加えて、米・イランの軍事的緊張の再燃による原油高や円安を背景にした輸入インフレへの警戒感も、金利上昇要因になりました。

【欧米株式】



＜騰落率＞

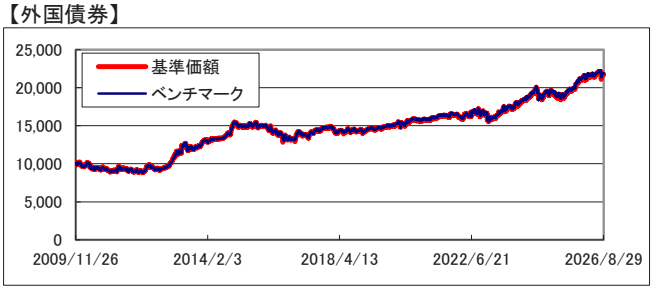
（単位:%）

	1ケ月	3ケ月	6ケ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	3.09	3.01	14.00	30.47	91.16	1209.23
ベンチマーク	3.10	3.03	14.03	30.54	91.53	1183.25
差	0.00	−0.03	−0.03	−0.08	−0.37	25.98

＜市場の動き＞

米国株式市場は、月前半は中東情勢を巡る緊張が一時和らいだこと、また軟調な米経済指標を受けて早期利上げ観測が後退したことから上昇しました。月後半は中東情勢を巡る不透明感の再燃などが重石となり上昇幅を縮小しました。
欧州株式市場は、中東情勢を巡る不透明感が下押し圧力となりましたが良好な企業決算が相場を支え、月を通じては概ね堅調な推移となりました。

【外国債券】



＜騰落率＞

（単位:%）

	1ケ月	3ケ月	6ケ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	−0.04	−0.09	0.77	10.94	23.68	311.25
ベンチマーク	0.88	0.02	0.58	10.99	24.13	319.24
差	−0.92	−0.12	0.19	−0.04	−0.45	−7.99

＜市場の動き＞

米国10年国債利回りは、ほぼ横ばいでした。7月雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想に反して減少となり、また、7月CPI（消費者物価指数）の前年同月比の伸び率鈍化など、軟調な経済指標の結果が金利低下要因になりました。月末にはウォーシュFRB（米連邦準備理事会）議長が「基調的なインフレ率が2%目標に向けて鈍化しているとの確信が持てなければFRBにはまだやるべきことがある」と発言し、インフレへの警戒姿勢と追加の金融引き締めの可能性が示唆されたと受け止められ、利回りは上昇（価格は下落）しました。ドイツ10年国債利回りは、3.324%に上昇しました。原油高によるインフレ圧力が再認識されたことや米金利の上昇が波及したほか、ECB（欧州中央銀行）による早期利上げへの警戒感が引き続き意識され、金利上昇要因になりました。

＜各資産のベンチマーク（グラフはバランスF(25)VA1の当初設定日を10,000として指数化し、設定日から基準日までを表示）＞

国内株式　TOPIX（東証株価指数）（配当込み）　国内債券　NOMURA-BPI 総合　外国債券　FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
欧米株式　S&P 500指数（円ベース）、ユーロ・ストックス50指数（円ベース）、FTSE100種総合株価指数（円ベース）の合成インデックス

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：世界投資25

バランスF(25)VA1のマザーファンド

Sweet & Sweet STB LG Ⅲ

三井住友トラスト・アセットマネジメント

＜参考情報＞
マザーファンドの状況　2026年8月31日

【国内株式】
マザーファンド名：国内株式インデックス マザーファンド
◆株式組入上位10銘柄（対株式資産比率）

銘柄数：1,626

順位	銘柄名	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.95%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	2.68%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.59%
4	日立製作所	電気機器	2.39%
5	ソニーグループ	電気機器	2.32%
6	リクルートホールディングス	サービス業	2.25%
7	東京エレクトロン	電気機器	2.05%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.04%
9	アドバンテスト	電気機器	1.75%
10	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.73%

◆株式組入上位10業種（対純資産比率）

順位	業種	比率
1	電気機器	20.33%
2	銀行業	12.43%
3	卸売業	7.30%
4	情報・通信業	6.22%
5	機械	5.65%
6	輸送用機器	5.03%
7	化学	4.43%
8	サービス業	4.33%
9	小売業	3.71%
10	保険業	3.40%

【国内債券】
マザーファンド名：国内債券インデックス マザーファンド
◆公社債組入上位10銘柄（対純資産比率）

銘柄数：1,167

順位	銘柄名	クーポン（%）	比率	償還年月日
1	第365回利付国債（10年）	0.10%	1.05%	2031/12/20
2	第183回利付国債（5年）	1.60%	1.04%	2030/12/20
3	第185回利付国債（5年）	2.00%	1.00%	2031/3/20
4	第382回利付国債（10年）	2.40%	0.94%	2036/3/20
5	第361回利付国債（10年）	0.10%	0.91%	2030/12/20
6	第352回利付国債（10年）	0.10%	0.90%	2028/9/20
7	第376回利付国債（10年）	0.90%	0.88%	2034/9/20
8	第350回利付国債（10年）	0.10%	0.85%	2028/3/20
9	第374回利付国債（10年）	0.80%	0.85%	2034/3/20
10	第359回利付国債（10年）	0.10%	0.84%	2030/6/20

◆公社債種別構成比（対純資産比率）

	種別	比率
1	国債	84.97%
2	地方債	5.89%
3	事業債	6.35%
4	政府保証債	1.21%
5	MBS	0.95%
6	金融債	0.29%
7	円建外債	0.27%
8	ABS	0.01%
9	その他債券	0.00%
10	短期金融資産等	0.05%
	合計	100.00%

【欧米株式】
マザーファンド名：欧米株式インデックス・ファンドVA＜適格機関投資家限定＞
●組入上位10銘柄（対株式資産比率）（円換算ベース）

銘柄数：506

順位	銘柄	国名	比率
1	NVIDIA CORP	米国	7.20%
2	APPLE INC	米国	6.42%
3	ISHARES CORE EURO STOXX 50 UCITS ETF	ドイツ	6.33%
4	MICROSOFT CORP	米国	5.21%
5	AMAZON COM INC	米国	3.56%
6	ISHARES CORE FTSE 100 UCITS ETF GBP DIST	英国	3.00%
7	ALPHABET INC-CL A	米国	2.78%
8	BROADCOM INC	米国	2.39%
9	ALPHABET INC-CL C	米国	2.22%
10	META PLATFORMS INC-A	米国	1.73%

●通貨別組入比率（対株式資産比率）（円換算ベース）

	通貨名	比率
1	米国ドル	90.67%
2	ユーロ	6.33%
3	英国ポンド	3.00%
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【外国債券】
マザーファンド名：外国債券インデックス マザーファンド
●通貨別組入比率（対純資産比率）（円換算ベース）

銘柄数：1,033

	通貨名	比率
1	米国ドル	43.88%
2	ユーロ	27.90%
3	中国元	12.77%
4	英国ポンド	5.70%
5	カナダ・ドル	2.10%
6	オーストラリア・ドル	1.30%
7	韓国ウォン	1.27%
8	メキシコ・ペソ	0.89%
9	ポーランド・ズロチ	0.69%
10	マレーシア・リンギット	0.49%
11	イスラエル・シェケル	0.44%
12	シンガポール・ドル	0.37%
13	ニュージーランド・ドル	0.30%
14	デンマーク・クローネ	0.19%
15	スウェーデン・クローナ	0.18%
16	ノルウェー・クローネ	0.17%
17	日本・円（ｷｬｯｼｭ等含む）	1.38%
	合計	100.00%

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：日本投資25

国内バランス25VA1およびそのマザーファンド

Sweet & Sweet STB LG Ⅲ

国内バランス25VA1（適格機関投資家専用）

2026年8月31日現在

三井住友トラスト・アセットマネジメント

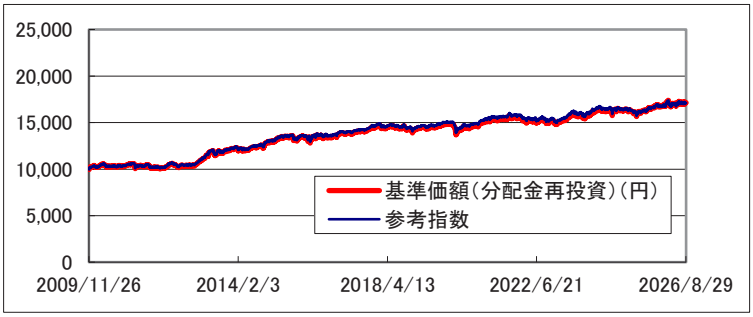
① 当月末基準価額

基準価額	既払分配金（税引前）	純資産総額
17,117　円	20　円	139　百万円

【マザーファンドの純資産総額】

国内株式	国内債券
1,016,591　百万円	763,940　百万円

②当ファンドの運用状況



＜騰落率＞　（単位:%）

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	0.41	0.28	−1.46	3.76	8.73	71.43
参考指数	0.36	0.23	−1.48	3.57	7.08	71.24
差	0.05	0.05	0.03	0.19	1.65	0.19

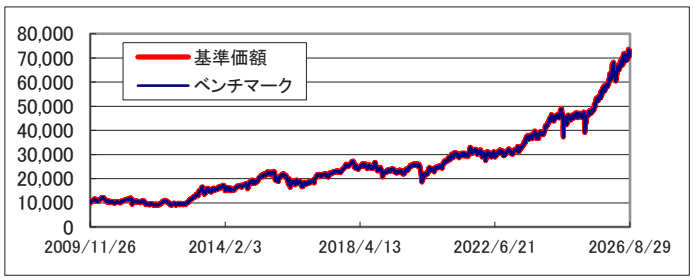
【資産構成比と基準価額騰落貢献度（月次）】　（単位:%）

資産	月末時価構成比	基本資産配分	差	基準価額騰落貢献度
国内株式	26.5	25.0	1.5	0.96
国内債券（短期金融資産込）	73.5	75.0	−1.5	−0.60
その他	−	−	−	0.05
合計	100.0	100.0	−	0.41

(注1)グラフデータは設定日から基準日までを表示しています。また、基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
(注2)参考指数は各組入資産のベンチマークを指数化したものに、その資産の基本資産配分を乗じたものの合計を、当初設定日を10,000として指数化した合成インデックスです。
(注3)騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
(注4)「基準価額騰落貢献度」の「その他」は、信託報酬、基準比差異効果及び資金流出入要因他です。
(注5)運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

③ 資産（マザーファンド）毎の運用状況

【国内株式】



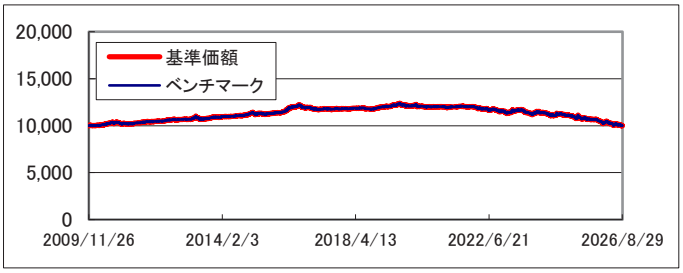
＜騰落率＞　（単位:%）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	3.86	5.17	6.76	38.28	91.26	353.31
ベンチマーク	3.85	5.17	6.77	38.28	91.24	346.61
差	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	6.70

＜市場の動き＞

国内株式市場は上昇しました。月前半は、海外ハイテク株の良好な決算内容を受けて、AI（人工知能）・半導体関連銘柄を中心に買いが優勢となりました。特に、米国の雇用統計やCPI（消費者物価指数）の低調な結果を受けて米早期利上げ観測が後退したことが上昇要因となりました。月後半は、中東情勢の先行き不透明感が改めて意識され、原油価格が上昇に転じたことや財政不安などにより、世界的に長期金利が上昇傾向となったことからハイテク関連株が軟調となる一方で、金融株が堅調となり、底堅く推移しました。

【国内債券】



＜騰落率＞　（単位:%）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	−0.80	−1.40	−4.32	−6.36	−12.44	17.30
ベンチマーク	−0.81	−1.39	−4.32	−6.36	−12.44	17.73
差	0.00	0.00	0.01	0.00	−0.01	−0.43

＜市場の動き＞

国内債券市場では10年国債利回りが2.940%に上昇（価格は下落）しました。7月末から8月月初に日米協調円買い介入が行われ、その後ベッセント米財務長官が介入を支持し「政策と経済の基礎条件による対応が必要」と発言した旨が報道され、9月の利上げを織り込む動きが広がりました。また、2027年度予算の概算要求規模が膨らみそうだとの見方が財政運営の先行きに対する不安感につながりました。加えて、米・イランの軍事的緊張の再燃による原油高や円安を背景にした輸入インフレへの警戒感も、金利上昇要因になりました。

＜各資産のベンチマーク（グラフは国内バランス25VA1の当初設定日を10,000として指数化し、設定日から基準日までを表示。）＞

国内株式　TOPIX（東証株価指数）（配当込み）　　国内債券　NOMURA-BPI 総合

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：日本投資25

国内バランス25VA1のマザーファンド

Sweet & Sweet STB LG Ⅲ

三井住友トラスト・アセットマネジメント

＜参考情報＞
マザーファンドの状況　2026年8月31日

【国内株式】
マザーファンド名：国内株式インデックス マザーファンド

◆株式組入上位10銘柄（対株式資産比率）

銘柄数：1,626

順位	銘柄名	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.95%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	2.68%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.59%
4	日立製作所	電気機器	2.39%
5	ソニーグループ	電気機器	2.32%
6	リクルートホールディングス	サービス業	2.25%
7	東京エレクトロン	電気機器	2.05%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.04%
9	アドバンテスト	電気機器	1.75%
10	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.73%

◆株式組入上位10業種（対純資産比率）

順位	業種	比率
1	電気機器	20.33%
2	銀行業	12.43%
3	卸売業	7.30%
4	情報・通信業	6.22%
5	機械	5.65%
6	輸送用機器	5.03%
7	化学	4.43%
8	サービス業	4.33%
9	小売業	3.71%
10	保険業	3.40%

【国内債券】
マザーファンド名：国内債券インデックス マザーファンド

◆公社債組入上位10銘柄（対純資産比率）

銘柄数：1,167

順位	銘柄名	クーポン（%）	比率	償還年月日
1	第365回利付国債（10年）	0.10%	1.05%	2031/12/20
2	第183回利付国債（5年）	1.60%	1.04%	2030/12/20
3	第185回利付国債（5年）	2.00%	1.00%	2031/3/20
4	第382回利付国債（10年）	2.40%	0.94%	2036/3/20
5	第361回利付国債（10年）	0.10%	0.91%	2030/12/20
6	第352回利付国債（10年）	0.10%	0.90%	2028/9/20
7	第376回利付国債（10年）	0.90%	0.88%	2034/9/20
8	第350回利付国債（10年）	0.10%	0.85%	2028/3/20
9	第374回利付国債（10年）	0.80%	0.85%	2034/3/20
10	第359回利付国債（10年）	0.10%	0.84%	2030/6/20

◆公社債種別構成比（対純資産比率）

	種別	比率
1	国債	84.97%
2	地方債	5.89%
3	事業債	6.35%
4	政府保証債	1.21%
5	MBS	0.95%
6	金融債	0.29%
7	円建外債	0.27%
8	ABS	0.01%
9	その他債券	0.00%
10	短期金融資産等	0.05%
	合計	100.00%

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

募集代理店

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028　東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問合わせ
フリーダイヤル　0120-125-104
https://www.ms-primary.com